

大学生指導者派遣による 地域クラブ活動モデル推進事業

令和8年度 / 福島大学附属中学校モデル

大学生 × 中学生 × 地域スポーツ

目的

大学生が中学生のクラブ活動指導に積極的に関わる仕組みをつくり、地域クラブ活動の活性化と将来の指導者育成につなげる。

対象・実施組織

対象：福島大学附属中学校
実施組織：
福島大学地域スポーツ政策研究所
スポーツコース学生を派遣

期待される効果

中学生：専門的で安心な指導
大学生：実践経験と教育力向上
地域：地域クラブの担い手育成

事業の流れ

募集・派遣・評価までを一体で運営

1

生徒ニーズの把握

附属中学校生徒の週末ニーズを聴取し、具体的な週末プログラムを提供

2

大学生募集

スポーツコース学生へ説明会を実施し、事業趣旨を説明して希望者を募集

3

面接・登録

面接のうえ適任者を指導者リストへ登録

4

学校ニーズの聴取

各クラブの希望する指導内容・日時を確認

5

マッチング・派遣

大学生とクラブ活動を調整し、大学生指導者を派遣

6

報告・面談

毎回の報告書をもとに定期面談・助言を行い、指導者としての成長を支援

7

評価・改善

生徒・保護者評価を大学生へフィードバックし、指導力向上へつなげる

年間実施規模

100

回実施

100

人参加

5

種目

主に週末（土日）に実施

対象クラブ

- バレーボール 20回 / 20人
エイベックスバレーボールクラブ
- バスケットボール 20回 / 20人
附属中バスケットボール部
- 卓球 20回 / 20人
インパクト卓球クラブ
- 陸上競技 20回 / 20人
附属中陸上競技部
- サッカー 20回 / 20人
附属中サッカー部

指導のポイント

- ・ 生徒による目標設定
- ・ 生徒とともに練習メニュー作成
- ・ 練習後ミーティングで振り返り

登録条件（例）

「スポーツ指導論」「体カトレーニング」「救急処置および看護法」「スポーツ医学」等を履修し、研究所が指導者としての資質を認定した学生

この事業が目指す姿

専門性と教育力を備えた大学生が、地域クラブ活動の担い手となり、福島発の地域展開モデルをつくる。